

資料 5

島根県地球温暖化対策推進計画に係るこれまでの取組状況

5-1. 「脱温暖化社会」へ向けての仕組みづくり

■島根県地球温暖化対策協議会の設置

2009年度末現在、15,000を越える会員が参加しています。

協議会は地球温暖化防止活動に自主的かつ積極的に取り組む県民・事業者・行政機関等で構成され、「家庭部会」「事業者部会」「行政部会」の部会ごとに様々な地球温暖化防止活動を行い、温暖化防止対策の必要性・重要性の普及啓発活動などの事業に取り組んでいます。

部会	運営委員
家庭部会	消費者団体・学識経験者・NPO法人・地球温暖化防止活動推進員・地球温暖化活動推進センター
事業者部会	島根県中小企業団体中央会、経営者協会、商工会議所連合会、商工会連合会、しまね産業振興財団・事業者代表
行政部会	島根県・市町村・事務組合等・国の機関

出典：島根県地球温暖化対策協議会

(HP: <http://eco-shimane.net/modules/tinyd0/>)

■島根県地球温暖化対策協議会ホームページ



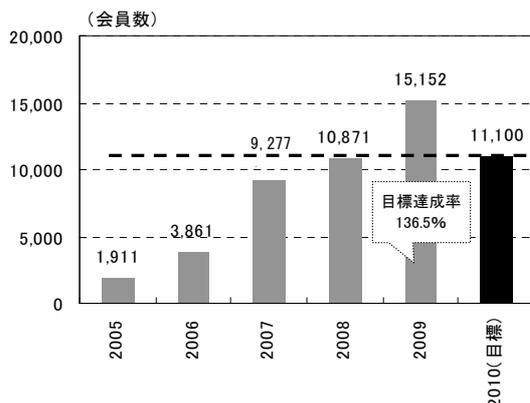
■市町村地球温暖化対策地域協議会の設置

県内では、2011年2月現在、「市町村地球温暖化対策地域協議会」が11団体あります。地域協議会は、地球温暖化防止に向けた地域での活動を牽引する役割を担い、様々な活動が展開されています。

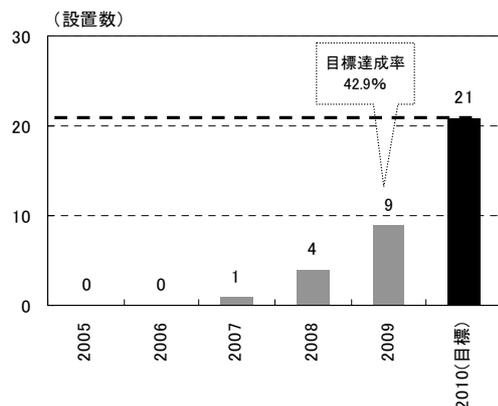
市町村地球温暖化対策地域協議会の活動例

- ・松江市 「まつえ環境市民会議」(2007年2月設立)
ゴーヤの苗配布によるグリーンカーテンの普及、エコドライブ講習会、街頭活動
- ・出雲市 「出雲市省エネルギービジョン推進協議会」(2008年12月設立)
店頭でのマイバッグキャンペーン、エコドライブ教習会、会報の発行
- ・浜田市 「はまだエコライフ推進隊」(2009年2月設立)
講演会、はまだマイバッグキャンペーン、はまだエコかるたの作成・配布、こども環境探偵団

■島根県地球温暖化対策協議会の会員数



■市町村地域協議会設置数



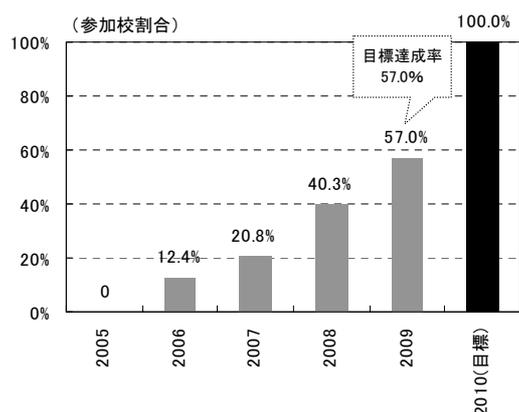
5-2. 環境教育・環境学習の充実

■学校版エコライフチャレンジしまねの推進

各校の活動レポートや、全体での取組の成果などは、学校版エコライフチャレンジしまねのホームページを通じて紹介しています。

出典：学校版エコライフチャレンジしまね 手引書、学校版エコライフチャレンジしまね HP

■学校版エコライフチャレンジしまね参加校数



■益田市立益田小学校での環境学習の様子



出典：学校版エコライフチャレンジしまね HP

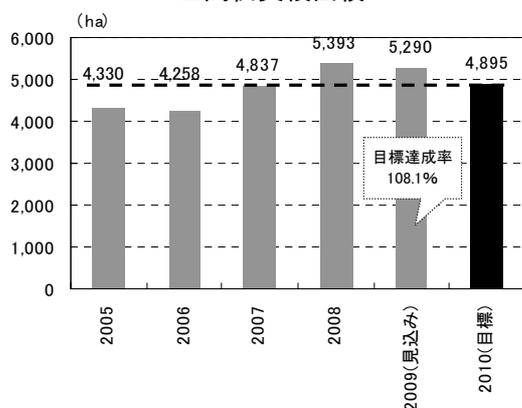
5-3. 森林の整備・保全と利用

■森林吸収源対策推進（間伐実績）

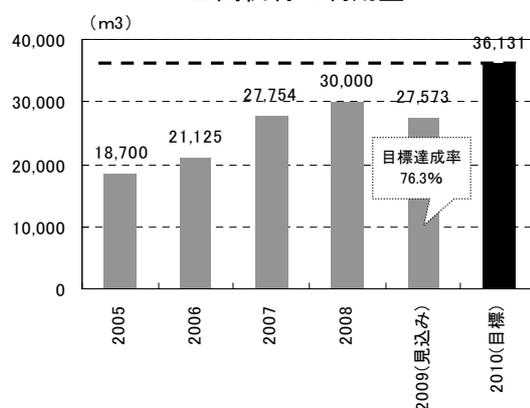
二酸化炭素吸収源としての森林を適正に管理するため、計画的な間伐の実施を推進しています。2005年度の間伐実施面積は4,330haでしたが、2009年度は5,290haの間伐を実施し、目標である4,895haを上回りました。

また、間伐によって発生する間伐材を利用することも、林業活性化などの観点から積極的に推進しています。

■間伐実績面積



■間伐材の利用量



5-4. 新エネルギーの活用

■企業局による風力発電施設

島根県企業局では、隠岐大峯山風力発電所（2004年2月営業運転開始）に続き、2009年2月に、江津高野山風力発電所の営業運転を開始しました。

タワーの高さ80m、羽根の直径90mという国内最大級の風車を9基建設し、予定される年間発電電力量は約3,800万kWhとなります。これは、原油などで発電した場合と比べて1年間で21,000t-CO₂の二酸化炭素排出量を削減することができます。

二酸化炭素排出量削減による地球温暖化防止効果とあわせて、ノウハウの公開による大規模風力発電開発の先導的役割を果たすことや、県民意識の高揚、観光資源としての活用などが期待されています。

■江津高野山風力発電所



出典：島根県企業局 HP

■新エネルギーの導入

島根県では、「島根県地域新エネルギー導入促進計画」に基づき、地域の特性に合わせた新エネルギーの計画的な導入を推進してきました。

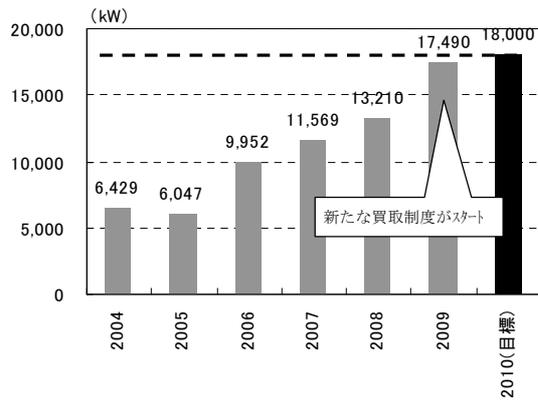
導入量の推移を見ると、太陽光発電、風力発電、クリーンエネルギー自動車（ガソリンと電気を組み合わせたハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車、メタノール自動車、燃料電池自動車、ディーゼル代替LPガス自動車）について、大幅に増加しています。

太陽光発電の増加は、設置に対する国や県、市町村（独自の補助制度のある市町村のみ）による補助に加えて、新たな余剰電力買取制度が開始されたことなどが主な要因と考えられます。クリーンエネルギー自動車の増加は、いわゆるエコカー補助金やエコカー減税の開始が要因と考えられ、経済的な支援が、市場における導入量拡大を大きく後押ししています。

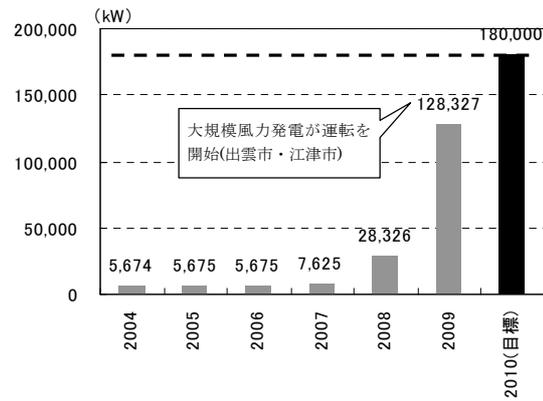
風力発電の増加は、出雲市や江津市において大規模な風力発電が運転を開始したことによるものです。

導入量が減少しているバイオマス熱利用については、施設の老朽化等によってバイオマス利用量が減少したことが主な要因となっています。

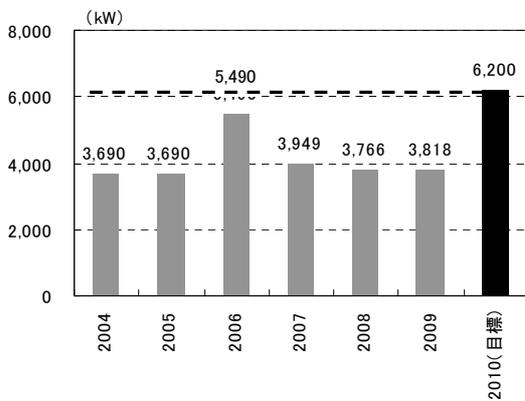
■太陽光発電導入量の推移



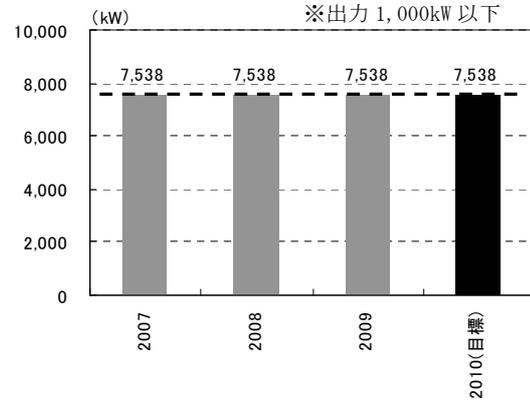
■風力発電導入量の推移



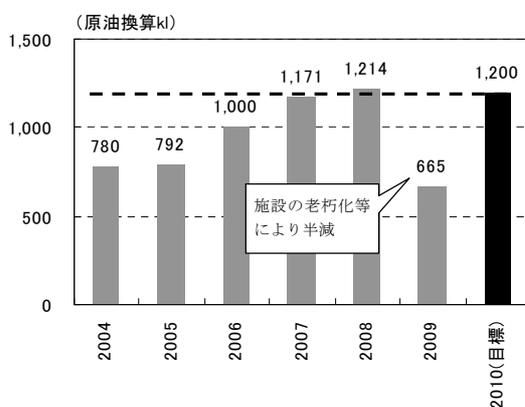
■バイオマス発電導入量の推移



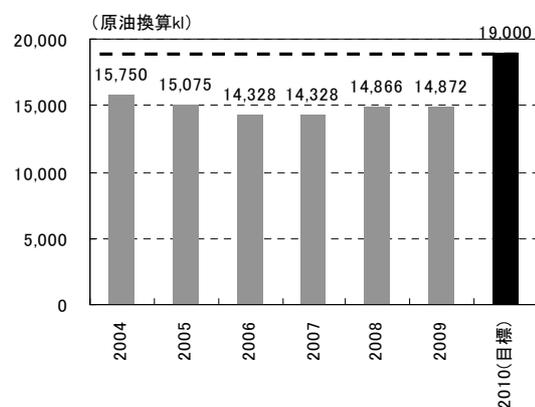
■水力発電導入量の推移



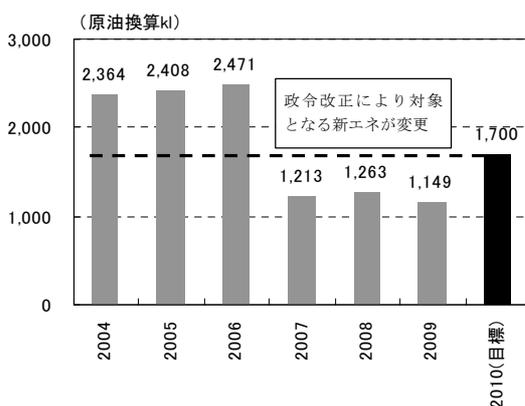
■バイオマス熱利用導入量の推移



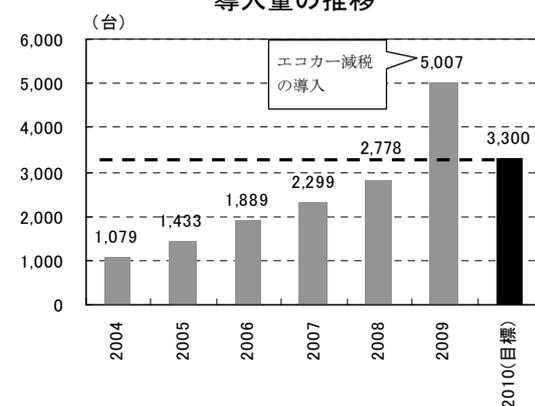
■太陽熱利用導入量の推移



■バイオマス燃料製造導入量の推移



■クリーンエネルギー自動車導入量の推移



【新エネルギー県内導入事例】

太陽光発電

- 松江市立母衣小学校（松江市）



出典：松江市立母衣小学校 HP

- 斐川町環境学習センター（斐川町）



出典：斐川町環境学習センターHP

風力発電

- 新出雲風力発電所（出雲市）



出典：ユーラスエナジーホールディングス HP

- 隠岐大峯山風力発電所（隠岐の島町）



**バイオマス
発電・バイオ
マス熱利用**

- 出雲エネルギーセンター（出雲市）



出典：中国四国農政局 HP

- 飯南町頓原庁舎（飯南町）



出典：飯南町 HP

太陽熱利用

- 邑南町健康センター元気館（邑南町）



出典：邑南町 HP

**クリーンエネ
ルギー自動車**

- 松江市交通局（松江市）
CNG（圧縮天然ガス）バス



出典：松江市交通局

- 大田市役所（大田市）
電気自動車



出典：大田市

5-5. 家庭での取組に対する施策

■島根県地球温暖化防止活動推進員

島根県地球温暖化防止活動推進員は「地球温暖化対策に関する法律」に基づき、知事が委嘱し、主に家庭や地域、学校等での普及・啓発を中心とした地球温暖化対策の取組を行っていただいています。

委嘱期間は2年で、2002年度に60名の方を委嘱して以来、現在ではすべての市町村において合計で120名の推進員がおられ、年間を通して積極的な活動をされています。

■研修の様子



主な活動事例

●研修会や講演会等の実施

省エネの効果的な実行例の発表、家庭でできる省エネ・エコドライブなどの講演会、「エコライフチャレンジしまね」の説明会、ワットアワーメータを使用した電気使用量比較講座等

●学校と連携した環境教育

小学校での環境教室、環境紙芝居、絵本や環境記事の読み語り、エコクイズ、エコクッキング等

●体験教室の企画運営

エコバッグ手作り教室、エコクッキング教室、エコドライブ教習会、リサイクル工作の実習と指導等

●普及啓発活動等

環境イベント等での環境ブースの企画運営、街頭キャンペーン、寸劇の上演、ラジオ番組出演等

■エコライフチャレンジしまね

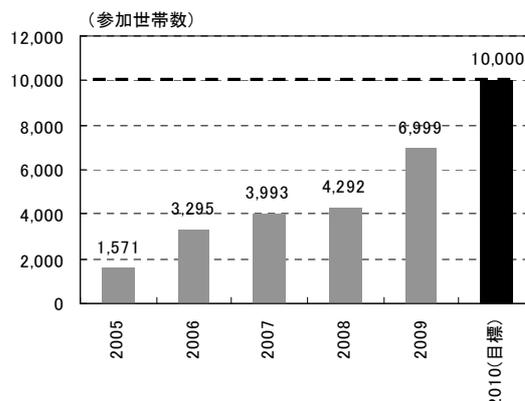
島根県地球温暖化対策協議会では2005年度から「しまね地球温暖化防止県民運動」に取り組んできましたが、そのうち、家庭でのエコライフ・省エネルギーの取組を支援する環境家計簿記帳運動で、2009年度末の参加世帯累計は、約7,000世帯となっています。

参加者は、家庭における電気やガスなどの使用量を事務局（しまね自然と環境財団）に送ると、使用状況に応じたアドバイスや、類似世帯等との比較順位などを記載した「わが家のエコチェックシート」が送られてきます。

楽しく、長続きするための工夫が盛り込まれており、インターネットでも紙媒体でも参加できることから、幅広い年代へのさらなる広がりが期待されます。

出典：エコライフチャレンジしまねHP (<http://www.e-shimane.net/life/usermanual.htm>)

■エコライフチャレンジしまね 参加者数の推移



■しまね CO₂ ダイエット作戦

県民の環境に配慮した消費行動に対して、協賛店舗が独自のサービスを提供することにより、CO₂ 排出削減の取組を進めていくことを目的に、島根県地球温暖化対策協議会が2007年8月から実施しています。例えば、飲食店で割り箸を断る、省エネタイプの製品を購入することで、カードのポイント加算や割引、景品プレゼントなどの特典を受けることができます。

2011年2月末現在で、約1,100店舗に協賛いただいております、エコの輪が広がりつつあります。

2009年度には、「マイバッグ持参」「マイ箸持参」「自動車利用を控える」の3つの行動で、延べ約10,000,000回の利用があり、約325 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました。

■しまね CO₂ ダイエット作戦 ロゴマーク



■しまね CO₂ ダイエット作戦協賛店のサービス例

業種	消費者の行動	サービス内容
商店	リサイクル容器弁当の容器持参	10円キャッシュバック
飲食店	マイ箸持参	5%割引
理美容店	自転車や徒歩で来店	ポイントカードにポイントを特別加算
電器店	省エネ賞品(26型以上の薄型テレビ等)の購入	家電10年保証
ホームセンター	省エネ型製品の購入	ポイントカード会員にポイントを特別加算
宿泊	宿泊時に2泊目のシーツ・タオル交換を断る	宿泊代1人につき300円割引
住宅関連	太陽光発電またはエコキュートを購入	割引サービス。見積り、問い合わせの方へ粗品進呈

注：表中の記載例は、「しまね CO₂ ダイエット作戦」ホームページに掲載されている協賛店のうち、各業種の最初に掲載されている協賛店を抜粋したものです。

出典：「しまね CO₂ ダイエット作戦」ホームページ (<http://www.shimane-co2.jp/>)

■エコドライブ教習会

島根県地球温暖化対策協議会では、自動車から排出される二酸化炭素を削減するため、県民一般の方を対象としたエコドライブ教習会を開催しています。

教習においては、運転免許センター等において実際にエコドライブを実践し、車に取り付けた燃費計により、その効果を実感できる内容となっています。

2009年度は、10月から11月にかけて、エコドライブインストラクターによる実車と講義を組み合わせた教習会を計4回開催し、50人の指導者等が参加されました。参加者は、教習会の内容を地域や事業所等において伝達講習等により普及していただきます。

■エコドライブ教習会の様子



【ノーマイカーデー】

島根県では毎月1日と20日をノーマイカーデーと定めています。

また、近くの駅・バス停まで自転車、マイカーで行き、そこからバス・鉄道を利用するパークアンドライドも推奨しています。



出典：島根県 HP

■しまねマイバッグキャンペーン

島根県地球温暖化対策協議会では、2005年から、「しまねマイバッグキャンペーン」として、レジ袋を断り、ごみの発生量を減らすことにより二酸化炭素排出量を削減する取組を行ってきました。

島根県が認定している「しまねエコショップ」において買い物をする際にマイバッグを持参すると、所定のカードにスタンプがもらえ、7つたまと賞品が当たる抽選に応募できる仕組みとしました。

2008年度には、10月～11月のキャンペーン期間に、約200万枚のレジ袋を削減することができました。

また、2009年度には県民意識調査を行い、普及・浸透が進んでいることが伺えました。

■マイバッグキャンペーンちらし

レジ袋削減のため、マイバッグを持参しよう。

マイバッグキャンペーン

抽選でなんと、合計1,100名様に!!
ポイントを集めて景品をもらおう!

開催期間 **10月1日(月)～11月30日(金)** 締切 12月3日(月)

応募方法 最寄りのエコショップでお済するポイントカードを使用してください。お買い物の際に、マイバッグの持参などによりレジ袋をお断りになるとスタンプ1個(1ポイント)を押印します(1回のお買い物につき1回)。ポイントが7つ貯まったら店に備え付けの応募箱に入れてください。(お一人様何回でも応募できます。)

■対象店 しまねエコショップ238店舗(全ての参加店で、ご利用になれます。)

■賞品

- 1等 しまね刺子牛高級牛肉 40名様
- 2等 しまね米 60名様
- 3等 ペネトンエコバッグ 1000名様

■当選発表 12月中旬に各賞品に選定します。
※当選者の氏名が新聞に掲載されます。

みんなの「ココロ」を「eココロ」にしよう。

島根県環境生活部産業物産課
〒690-8501 島根県松江市船越1番地 TEL:0852-22-8302 FAX:0852-22-8738
島根県海洋漁業振興課協議会 事務局 島根県松江市船越1番地 TEL:0852-22-8302 FAX:0852-22-8738
島根県松江市水産部 事務局 島根県松江市水産部1741 TEL:0852-32-5853 FAX:0852-32-5994

しまね地球温暖化防止活動県民運動
島根県環境生活部産業物産課 協賛(賛同) 協賛 でお申し込みください。

近年では、松江市や出雲市、大田市などにおいて事業者と行政などが「レジ袋削減に関する協定」を締結し、締結事業者がレジ袋削減のため、レジ袋を有料化(無料配布を中止)する取組が始まりました。

例えば、松江市においては、2008年10月に市内スーパーマーケット、市民団体、行政により構成される「レジ袋削減推進協議会」が設立され、議論を重ねたのち、2010年4月からレジ袋の有料化(無料配布の中止)がスタートしています。現在のところ10事業者42店舗において実施されており、マイバッグ持参率は80%を超えています。

■もったいない生活日記

島根県地球温暖化対策協議会では、家族で省エネを実施するための仕組みとして、「もったいない生活日記」の取組を推進しています。

この取組は、子どもとおとなが一緒に家庭内での省エネ計画を立てて実行し、点検を行うというPDCAサイクルを、夏休みなどの一定期間実施するものです。

2008年度は、夏休み前に県内の小学校に呼びかけ、個人240人、団体25校・669人の参加がありました。

2009年度には、「もったいない生活日記」を活用した「子ども環境にやさしい生活コンクール」を実施し、夏休みには1,313人、冬休みには317人が参加しました。

■「もったいない生活日記」に取り組んだ小学生の感想例

学年	感想
1年生	エコをして家もきれいになるし、地球もきれいになるからやって行きたいです。
2年生	いつもは、電気や水や袋のことなどきにせずにいたけど、もったいない生活日記をつけていくうちに、もったいない事はやめようとおもいました。
3年生	今までエコなんて全然きょうみなかったのに、これをきっかけにエコっていいなと初めて続けたくまりました。
4年生	これからも地球のためと環境のために、「もったいない生活日記」をしてみようと思いました。そして、この目標以外でも、できることをチャレンジしてみたいと思います。
5年生	日常の生活で意識してやると、節約できる時があります。だからこれからも、もったいないことをやめ、環境によい事をしていこうと思います。
6年生	意外と、いろんなムダがあったとわかったし、気をつけると意外にできました。これからも、いろんな事を気をつけて行きたいし、温暖化を少しでも防げるといいです。

出典：平成21年度もったいない生活日記コンクール とりくみレポート

5-6. 事業所での取組に対する施策

■エコアクション21の取得支援

エコアクション21(EA21)は、主に中小事業者が環境への取組を効果的・効率的に実施するための環境マネジメントシステムです。国際規格であるISO14001に比べて、取得や維持に要する費用や人的負担が軽く、中小事業者でも取り組みやすいことが特徴で、環境省が認証・登録する制度です。

県内では、中小企業団体中央会内に「エコアクション21地域事務局しまね」を設置し、取得やコンサルティングにかかる費用の補助、説明会開催など普及啓発活動を行うなど認証取得を推進し、2011年2月現在、25社が認証を取得しています。

■EA21 ロゴマーク



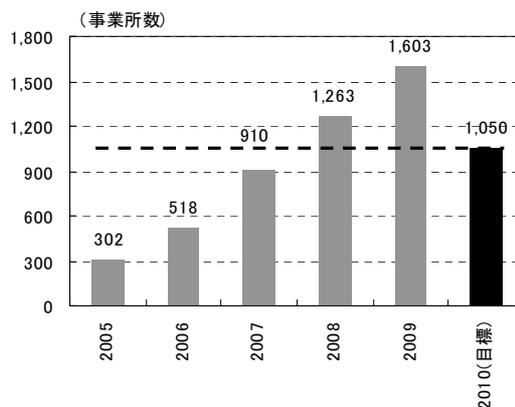
出典：「エコアクション21地域事務局しまね」ホームページ (<http://www2.crosstalk.or.jp/ea21/>)

■省エネ診断

島根県地球温暖化対策協議会では、「ストップ温暖化宣言事業者」を対象として、事業所や施設等における建築物の省エネルギーを推進するために省エネルギー診断を積極的に実施しています。診断にあたっては、協議会に登録しているECOアドバイザーを2006年度から無料で派遣しています。

2009年度までに計71事業所・施設（ショッピングセンター・病院・温泉旅館・製材業等）の省エネルギー診断を実施しました。この診断により運用改善を行ったり、大規模な省エネ設備改修を実施するなど、省エネルギーによる二酸化炭素排出量及びエネルギーコストの削減につなげています。また、このうち7件が国内排出量取引制度に参加しています。

■ストップ温暖化宣言参加事業所数



※前計画時の2010年度目標を2009年度実績は大きく上回りました

■省エネルギー診断事業実施結果（一部）

実施事業者	事業概要	CO ₂ 削減量 (t-CO ₂ /年)	省エネ診断実施年度	補助事業	ESCO事業	排出量取引制度
A 病院	病院におけるヒートポンプの導入 空調設備・照明設備の更新	319	2007	NEDO	○	国内クレジット
B 病院	病院におけるヒートポンプの導入、 照明設備の更新	75	2007	NEDO	—	国内クレジット
C 温泉宿泊施設	重油燃焼加熱の温水式暖房及び給湯 をヒートポンプ方式に転換等	306	2007	環境省	○	JVETS
D 温泉宿泊施設	蒸気加熱からHP給湯方式へ変更、 蒸気暖房からEHPエアコンへ変更	510	2007	環境省	—	JVETS
E ショッピングセンター	空調設備・ショーケースの高効率化更新、 高効率照明への取替	234	2008	環境省	—	JVETS
F 病院	病院棟空調機高効率化、 エコキュートの導入	209	2008	環境省	—	JVETS
G 温泉宿泊施設	重油給湯ボイラーを木質バイオマス燃料 に転換	233	2009	—	—	国内クレジット

注：国内クレジットは国内排出削減量認証制度を、JVETSは自主参加型国内排出量取引制度を指す。

■低炭素地域づくり面的対策事業

島根県は都市部に比べて運輸部門の占める二酸化炭素排出量割合が高いという特徴があります。そこで、公共交通機関の利用拡大による低炭素地域づくりを目指すため、モビリティ・マネジメント（以下MMという）の手法を活用した自動車利用を抑制する取組や公共交通利用の促進を図るための可能性調査（2008年度低炭素地域づくり面的対策推進事業）を実施しました。

松江市内の約20事業所1,000名、モデル地区（松江市法吉地区、湖北地区、出雲市平田地区）の住民4,000世帯を対象としてMMを実施し、自動車交通需要抑制可能性調査を行うとともに、終バスの試験的延長運行やパーク&バスライド導入実験など、公共交通の利用促進事業を行いました。

2009年度には、MMの取組によって、83 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができたと試算されています。今後、「通勤者」「通学生」「高齢者」「観光客」を主なターゲットとしながら、行政職員の率先的な公共交通機関の利用などにより、運輸部門における二酸化炭素の削減を目指した取組を展開していくこととしています。

5-7. 行政の取組

■県立中央病院への ESCO 事業の導入

ESCO は、Energy Service Company の略称で、事業者が、施設の空調・照明・給湯などエネルギー設備の省エネルギー化を提案し、設計・施工・運転管理まで包括的に提供することで省エネルギー化を実現し、かつ、その効果を保証する事業です。

島根県では、県立中央病院において ESCO 事業を導入し、2008 年 4 月より、サービスが開始されています。

具体的な省エネルギー改修手法としては、冷温水ポンプ等へのインバータ制御導入、冷却塔によるフリークーリングシステムの導入などを採用し、年間 10.1%の省エネルギーと、10.5%の二酸化炭素排出量を削減することができました。

■三瓶自然館への木質バイオマス空調設備導入

1991 年にオープンした県立三瓶自然館「サヒメル」では、2 基の灯油ボイラーにより空調を行っていましたが、そのうち 1 基を木質ペレットボイラーへ更新（林野庁補助事業）し、2009 年 7 月から運転を開始しました。

この設備更新により、冷暖房に伴う年間の二酸化炭素排出量が削減される（年間 51 t-CO₂）ことから、2010 年 1 月、国内クレジット制度に基づく「排出削減事業計画」の承認を受けました。これにより、国内クレジットとしての取引が可能となります。

なお、都道府県が排出削減事業者となるケースは宮城県に次いで 2 例目です。

県立三瓶自然館「サヒメル」は、「島根の豊かな自然環境」を多くの県民に紹介するとともに、自然と親しむ場と自然環境に対する学習機会を提供することを目的として設置された自然系博物館です。

こうした木質バイオマス機器の活用についても、地球温暖化対策の普及啓発と新エネルギーの導入促進に役立てるため、広く PR しています。

■サヒメルの木質ペレットボイラー

